

組織委員会（全国一斉ミーティング）議事録

【日時】 2024年9月6日（金） 13:00 ~ 16:00

【会場】 日本代協会議室（Zoom開催）

【出席者】 藤山委員長

その他：別紙参照

オブザーブ：小田島会長、小俣副会長、中島副会長

【司会】 蘆田副委員長 【事務局】 坂常務理事、出口業務推進部長 【議事録】 事務局

<要旨 確認・決定事項>

1. 2024年度仲間づくり推進目標

- ・2024年度目標数値：全国合計目標：338 会員 各都道府県代協の目標は資料参照
- ・算出方法：目標数値 = 「みなし専業未加入代理店（ ）×2%」 + 「みなし ALL チャネル未加入代理店数（ ）×0.1%」 23年度3月末現在
- ・専業代理店実在数/全チャネル代理店実在数：日本代協特別会員（13社）からの報告数字を集約
- ・「仲間づくり」は入会ベース、「会員増強」は入会から退会を除いた考え（±0以上）で、都道府県代協は「会員増強」をめざす

2. 組織委員会のコンセプト

- ・「おもしろい・役に立つ・また参加したい」
- ・面白さを追求し、役に立った、また参加したいと思うことを企画、実践する

3. グループ討議

- ・規模別に各代協の参加者を8グループに分け、「代協活動を活性化し、仲間づくり目標を達成するには～楽しい代協づくりをめざして～」をテーマに討議、その後、グループ発表
- ・今回は、同時期に同じテーマで同じグループで討議する

議事

1. 小田島会長 挨拶

- ・今年には能登の震災、南海トラフ地震臨時情報、降雨量の多い台風などの災害があった。これらの災害を受け、事業継続計画(BCP)の重要性を再認識し、普及を進めることが必要。代協のツールを活用してほしい。
- ・組織委員会は、仲間作りの推進を中心に、賠償セミナーや教育プログラム、広報活動などで活躍している。今後も「楽しい、役に立つ、参加したくなる代協」の輪を広げるため、企画や準備を頑張っていただきたい。今日の委員会で有益な情報を共有し、広めてほしい。
- ・3月からの有識者会議では、顧客本位の業務運営や経営体制について議論があった。報告書には、損害保険募集人の資質向上のための試験制度や継続教育、資格制度の充実が提言されている。法令順守や体制整備の重要性も強調されている。

・日本代協は、教育研修事業に注力し、業務品質の向上や経営の高度化に取り組んでいる。人口減少や労働力不足の問題に対し、次世代の人材育成や魅力ある労働環境作りが求められてる。私たちが魅力ある職業としての損害保険代理店を目指し、人材育成に取り組むことが重要。先を見据え、覚悟を持ってともに頑張らしましょう。

2．オリエンテーション（藤山委員長）

「20240906 組織委員会全国一斉 MTG」資料に基づき以下の項目について説明

（1）日本代協の組織目標と事業

- ・日本代協の組織目的
- ・日本代協の委員会
- ・倫理綱領

（2）組織委員会

- ・今年度の諮問事項とコンセプト
- ・仲間づくり（会員増強）
- ・課題
- ・課題解決のヒント

（3）組織委員会の流れ

- ・流れ
- ・ブロック組織委員会

3．金融庁有識者会議にオブザーブ参加して感じたこと（金澤専務理事）

会議の内容自体は議事録や報告書があるため、今回は会議の周辺の話や金融庁とのやり取りを中心に説明。概要は以下のとおり

（1）有識者会議へのオブザーブ参加の経緯

- ・昨年のビッグモーター問題やカルテル問題に加え、金融庁の担当者2名の異動により金融庁とのやり取りが増加
- ・金融庁はこの問題に対する日本代協の考えに関心があった

（2）日本代協から金融庁に伝えたこと

- ・会員からは今回の問題に対する憤りの声があることは伝えたい一方で、日本代協としては、顧客に価値を提供する姿勢を強調し、昨年8月と今年1月に小田島会長からメッセージを発信し、顧客本位の業務を実践することを会員に呼びかけたこと
- ・日本代協はプロ代理店だけでなく、企業代理店や地場の整備工場代理店など代理店業界を代表する団体であること

（3）有識者会議に参加することの意義

- ・会議の前後の時間に有識者や金融庁の担当者等の参加メンバーの方と話をすることで、考え方や立場を理解する機会が得られる

（4）今後の動き

- ・9月下旬から金融審議会のワーキンググループが開始
- ・損保協会に「代理店業務品質評価に関する第三者検討会」設置（9月下旬予定）

いずれも日本代協金澤専務理事、坂常務理事がオブザーブ参加予定

4. 2024年度「仲間づくり推進」入会目標ガイドラインの確認（山口副委員長）

資料「2024年度『仲間づくり推進』入会目標ガイドラインについて」を基に説明

- ・ 目標数値：全国合計目標：338 会員 各都道府県代協の目標は資料参照
- ・ 算出方法：目標数値 = 「みなし専業未加入代理店（ ）×2%」 + 「みなし ALL チャンネル未加入代理店数（ ）×0.1%」 23 年度 3 月末現在
- ・ 専業代理店実在数、全チャンネル代理店実在数：日本代協特別会員（13 社）からの報告数字を集約

5. グループ討議

- ・ 8 グループに分かれグループ討議を実施 メンバーはグループ討議資料参照
- テーマ：代協活動を活性化し、仲間づくり目標を達成するには
～ 楽しい代協づくりをめざして～

6. グループ討議発表

各グループの代表から発表。項目別に整理した内容は以下のとおり

（1）代賠セミナーの開催

- ・ Chubb 社主導ではなく、代協が自前で代賠セミナーを開催
- ・ Chubb 社主導で他県の会員や保険会社も参加可能な仕組みを整備
- ・ 保険会社の社内ネットでの案内を通じて、幅広い人にセミナーの重要性を伝える工夫もしている

（2）新規メンバーの参加促進

- ・ 参加メンバーが固定化する課題に対し、他支部や隣接する代協と合同で研修を行い、新しいメンバーとの接点を増やす
- ・ 名刺の裏に「仲間求む」というメッセージを入れる

（3）楽しいイベントの企画

- ・ 会員のスタッフや家族、保険会社の社員が参加できるバーベキューや釣り大会、清掃活動、野球観戦、ボーリング大会など、レクリエーションを通じてメンバー間の交流を深める
- ・ 住宅展示場で例会を開催し、紹介フィーの話をする

（4）保険会社や関係機関との連携強化

- ・ 財務局長を賀詞交歓会に招き、保険会社の支店長の参加を促す
- ・ 損保協会との懇談会で保険会社の支店長に仲間づくりや代賠の重要性を共有

（5）日新火災プロ代理店へのアプローチ

- ・ 代理店賠償の加入による手数料ポイントアップを訴求

（6）代協の活性化

- ・ 39 歳の若い会長を中心に、理事も若返りを図り、代協の活性化を推進。
- ・ 女性部会や 50 歳以下の次世代部会、会員と保険会社の社員がメンバーである代理店価値研究会などをつくり、活性化につなげる

（7）教育・情報発信の強化

- ・ 日本代協アカデミーを通じて、スタッフや損保会社の社員への教育をアピール

- ・サイバーセキュリティのセミナーや給与体系や募集人体制、後継者をテーマとしたパネルディスカッションを開催し、業界の課題や解決策を共有
- ・ZOOM を活用したオープン形式の「なんでも相談会」を開催

7. 全体総括（藤山委員長）

- ・日新火災のプロ代理店にアプローチすることが本年度は重要である
- ・楽しい代協をつくることは永遠のテーマである。諸先輩方は、日頃顔を出さない会員には電話を1件ずつかけ、食事会のときは、仲のいい人だけを固めないように、来ていただいて方を楽しませる配慮をした。創意工夫をして一年間やってみてほしい。
- ・来年も同じ時期に同じテーマで同じ班でグループ討議をしたい。この1年間で感じたこと、やってみたいと感じたことをこの場で披露し、反省したり、成功したことは連携できないを考えたりなど議論できればと思う。
- ・声をかけていただき、都合が合えば、各県、各ブロックのセミナーに自身が伺う。会員にとって代協に入ってよかった、保険会社の方には代協は大事なんだ、ということをしっかり伝えたい。

8. 感想（小俣副会長）

- ・かつて組織委員会を4年間経験し、国民年金基金の募集という非常に重たい経験をした。そのときのモチベーションになったのは、これは何のためにやるのか、自分で腹落ちしないと、自分が動けないし、周りにも動いてもらうことができない。「なぜ、なぜ、なぜ」ということを皆さんに伝えた。
- ・楽しく面白くなければ人は集まってこない。なぜこれをするのかを腹落ちさせ、やらされ感のない活動につなげていただきたい。

9. 閉会挨拶（中島副会長）

- ・他の委員会の全国一斉ミーティングを見てきた中で、今回の組織委員会の皆さんのいい表情が非常に印象的であった。
- ・面白いことをしよう、役に立つことをしよう、また来たい、という代協をつくろうという意思が皆さんに伝わっているような気がした。
- ・皆さんが楽しく、笑顔で参加すればするほど、周りは興味をもち、人が集まると思っていたきたい。
- ・代理店賠償セミナーで保険使用の報告会のような例があったが、自身のコンプライアンス違反の発表になってしまうこともあるので、注意していただきたい。
- ・福岡県代協では、代理店賠償セミナーを代理店の従業員までを参加対象とし、自身の代理店スタッフも参加したが、「しっかり自分たちも自覚しておかないと怖いですね」という声が多くあった。従業員まで参加することで、自身の代理店のコンプライアンスの向上を図っていただきたい。
- ・有識者会議で問題となっている大きな代理店ではなく、代協の会員のような規模の代理店をいかにもっと発展させていくかを皆さんと協力しながら考えていきましょう。

以上

9月6日 組織委員会全国一斉Webミーティング 参加者

(敬称略)

ルーム	都道府県代協	氏名(敬称略)	代協内役職	代理店名
1	神奈川	堀口 好美	組織委員長	株式会社 a・とも総合保険サービス
	東京	北村 謙一	日本代協組織委員	(株)永明社
	愛知	手戸 健一	組織委員長	株式会社ハートサポート
	京都	鶴見 和也	組織委員長	株式会社ラクール保険事務所
	大阪	守屋 仁志	組織委員長	やよい・エーオーエスアイ
	福岡	山村 公志郎	理事組織委員長	株式会社A&Aエージェンシー
2	青森	成田 学	組織委員長	有限会社弘前マインド保険
	宮城	鈴木 希	組織委員長	株式会社えびす仙台保険
	兵庫	山口 善克	組織委員長	株式会社共盛
	鳥取	榊田 久由	組織委員長	榊田保険事務所
	広島	武田 康伸	組織委員長	株式会社エステート
	香川	池田 宏	副会長・組織委員長	共栄西日本有限会社
3	やまがた	蘆田 厚子	副会長・組織委員長	有限会社さくら保険事務所
	富山	井澤 伸生	組織委員長	有限会社いざわ保険
	和歌山	角 卓哉	組織委員長	株式会社NTホケン
	愛媛	藤原 宏明	組織委員長	株式会社保険のトップライン
	大分	弥吉 学	組織委員長	ほけんビジネスセンター
	鹿児島	栗山 和也	組織委員長	株式会社TOUGH・NET
4	岩手	奈須川 朋之	副会長・組織委員長	株式会社N A S A プランニング
	長野	山口 哲也	副会長・組織委員長	株式会社インターサポート
	茨城	北野 大輔	組織委員長	株式会社ハース
	岐阜	川島 邦夫	組織委員長	(有)川島保険事務所
	山口	藤井 修三	組織委員長	(株)グットライアンス
	長崎	前田 幸子	組織委員長	有限会社りんくるエンタープライズ
5	北海道	若林 徹	組織委員長	スマイル保険企画
	群馬	高野辺 孝	組織委員長	株式会社高野辺保険
	三重	藤岡 崇	組織財務委員長	(株) For you
	埼玉	中島 竜二	組織委員長	株式会社ライフリンクス
	高知	高本 光輝	副会長・組織委員長	株式会社ウインライフ高知支店
	沖縄	与那嶺 由貴子	組織委員長	株式会社タクソウ
6	福島	宮崎 秀剛	副会長	有限会社リスクマネジメントハウス
	栃木	増淵 哲夫	宇都宮支部長	(株)インシュアランスチーム宇都宮
	福井	飯嶋 一教	副会長	三和イコール企画株式会社
	滋賀	中村 翔	組織委員長	(株)スマイル&マインド
	島根	岸 謙司	組織委員長	E 保険プランニング
	宮崎	小川 昭彦	組織委員長	保険ネットホールディング株式会社
7	秋田	田代 敦	副会長	ワールド保険
	新潟	桑原 英明	組織委員長	株式会社えびす保険事務所
	山梨	堀山 靖之	組織委員長	保険工房
	奈良	河口 陽一	副会長	(株) a s r u t
	広島	松井 英男	副会長	株式会社Total Office Matsui
	佐賀	山下 修平	副会長・組織委員長	株式会社ライフプロジェクト
8	千葉	飯田 晴夫	副会長・組織委員長	株式会社INS
	静岡	稲穂 俊徳	副会長組織委員長富士富士宮支部長	有限会社富士トレーディング
	石川	加志 尚久	理事	カシヨウジ保険事務所
	岡山	成広 巧	副会長・組織委員長	株式会社岡山保険センター
	徳島	寺田 明裕	組織委員長	株式会社あいおい総合保険サービス
	熊本	川口 有一	専務理事・組織委員長	株式会社グランディ・ル総合保険研究所